

(別冊 1)

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	4
(3) ボランティアセンター運営事業	4
(4) 社協会員加入促進事業	7
(5) まごころ銀行運営事業	8

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8
(2) 地区社協育成事業	
①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	9
(3) 地域福祉活動啓発事業	
①広報啓発事業	10
②若草福祉まつり開催事業	10
③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業	10
④福祉サポートフェスタ開催事業	11
⑤北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業	11
⑥春夏秋冬（しき）笑顔まつやま福祉五七五事業	11

[新規] ⑦地域福祉活動推進計画策定事業	12
------------------------	----

[新規] ⑧VR認知症体験会開催事業	12
----------------------	----

[新規] ⑨第57回愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動	12
--------------------------------	----

[新規] ⑩障がい者理解啓発イベント開催事業	13
--------------------------	----

(4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	13
②道後温泉浴衣活用事業	14
③福祉団体助成事業	14
④地域団体研修等車輛借上助成事業	14

[新規]	⑤地域交流型キッズシネマ上映会実施事業	14
[新規]	⑥こども服交換会開催事業	14
	(5) 見守り支援事業	
	①安心カードみまもり支援事業	15
	②認知症高齢者SOSネットワーク事業	15

4 相談支援事業

(1)	生活困窮者自立相談支援事業	15
(2)	障がい者総合相談窓口事業	16
(3)	福祉サービス利用援助事業	17
(4)	福祉資金貸付事業	17

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1)	総合福祉センター管理・運営事業	18
(2)	地域福祉支援システム管理運営事業	20
(3)	番町福祉センター管理事業	20
(4)	北条社会福祉センター管理運営事業	20
(5)	いきがい交流センターしみず管理運営事業	20
[新規]	(6) 活動拠点整備事業	21

2 地域生活支援事業

(1)	高齢者等支援事業	
	①愛の一声訪問事業	21
	②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	21
	③配食サービス事業	21
	④福祉機器貸出事業	21
(2)	介護予防促進事業	
	①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業	22
	②松山健康づくり体操教室事業	23
	③まつやまシニアカレッジ事業	23
	④北条文化の森いきいき講座事業	24
(3)	聴覚総合支援事業	
	①聴覚総合相談事業	24
	②手話通訳者設置事業	25
	③意思疎通支援事業	25
	④意思疎通支援者養成事業	26
	⑤聴覚障がい者等生活訓練事業	26

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 27
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ②ケアプラン評価等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ③介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ④まつやまケアサポステーション事業・・・・・・・・・・ 29

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- (2) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (3) 市民後見推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ③コミュニケーションスキルアップ講座事業・・・・・・・・ 31

【はじめに】

少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、地域や家庭等での生活課題はますます多様化・深刻化し、支えあい活動の対策が求められる中、国においては地域住民一人ひとりが身近な地域の抱える問題を「我が事」として捉え、人と地域に存在する関係団体等の資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、地域住民の生きがいを高め、地域を創る「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では「平成 30 年度事業計画」に基づき、地域福祉活動の要となる地区社協への活動支援や医療分野をはじめとする関係機関・団体、民間企業等との連携・協働を図るとともに、昨年7月の豪雨災害では約1ヶ月間、市内 11 地区において支援活動を行うなど、ボランティア活動や住民の助け合い活動の更なる充実に努めて参りました。

また、本会の特性である公平性・中立性を最大限に活かした要介護認定訪問調査事業をはじめとする各種事業の適正な実施やイベントを通じた広報啓発活動の強化に努めるなど、行政や医療分野、民間企業等との連携・協働を図りながら社会福祉協議会への理解者の拡大と使命である地域福祉の推進に積極的に取り組みました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成に取り組むとともに、平成 30 年度においては、賛助会員である企業と「連携に関する協定書」を締結するなど、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進に努めた。

ア. 理事会の開催（定数：理事 13 名・監事 2 名）

開催日	出席者数	議案
平成 30 年 6 月 7 日	11 名	平成 29 年度事業報告について 平成 29 年度収支決算について 評議員選任・解任委員会外部委員の委嘱について 評議員選任候補者の推薦について 平成 30 年第 2 回評議員会の開催について
平成 30 年 8 月 17 日	13 名	平成 30 年第 3 回評議員会の開催について
平成 31 年 3 月 14 日	13 名	債権の一部放棄について 平成 30 年度資金収支補正予算について 平成 31 年度事業計画について 平成 31 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する協定書について 定款細則の全部改正について 理事の報酬等について 平成 31 年第 1 回評議員会の開催について

イ. 評議員会の開催（定数：評議員 23 名）

開催日	出席者数	議案
平成 30 年 6 月 21 日	20 名	平成 29 年度事業報告について 平成 29 年度収支決算について 役員の選任について
平成 30 年 8 月 28 日	23 名	理事の選任について
平成 31 年 3 月 28 日	22 名	債権の一部放棄について 平成 30 年度資金収支補正予算について 平成 31 年度事業計画について 平成 31 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する協定書について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 役員の選任について

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：委員 6 名）

開催日	出席者数	議案
平成 30 年 6 月 14 日	6 名	評議員の選任について

エ. 実習生の受入等

学校数	人数	実習内容
4 校	39 名	相談援助実習や臨地実習等

オ. JA えひめ中央と松山市社協との連携に関する協定書 調印式の開催

項目	内容等
日時	平成 30 年 6 月 21 日
会場	市総合福祉センター 1 階 会議室
協定内容	①JA えひめ中央が所有する施設の一部を松山市社協が活動拠点として活用すること。 ②JA えひめ中央は社会貢献活動の一環として売り上げの一部を松山市社協へ寄付し、松山市社協は商品の紹介等を通してその活動を支援すること。 ③両者はそれぞれが主催するイベント等に参加・協力し福祉活動の啓発を行うこと。

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

事務事業の効率化及び情報の共有化を図るため、パソコン等の情報機器を整備するとともに、情報機器等の安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

項目	内容等
設置台数	81 台

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により回収に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	43 件 (625,000 円)	14 件	63,000 円
母子家庭等小口資金	4 件 (231,000 円)	5 件	25,000 円
合計	47 件 (856,000 円)	19 件	88,000 円

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
348 名	1,789 名	2,137 名

・活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数	内 容 等
6,054 回	12,661.5 時間	25,323 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	内 容 等
福祉学習事業 助成	39 地区	2,960,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 157 回)
活動計画策定 助成	3 地区	30,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	5 地区	215,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 諸会議の開催

会議名	内 容 等
地区社協会長・ 事務局長連絡会	開催日 平成 30 年 4 月 20 日 会 場 市総合福祉センター 5 階 中会議室 出席者数 74 名 (地区社協会長・事務局長 外) / 対象者数 80 名 報告事項 (1)松山市地区社会福祉協議会連絡会活動状況について (2)地域福祉サービス事業活動状況について (3)ふれあい・いきいきサロン事業活動状況について (4)地域交流サロン事業活動状況について 説明事項 (1)地区社協関連事業実施計画について (2)提出書類について (3)地域福祉活動計画策定進捗状況について

エ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

実施地区	市内地区社協 (40 地区)
調査期間	平成 30 年 4 月 ~ 6 月
内 容	各地区を訪問し、会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

オ. 地区社協だよりの発行

実施地区	39 地区 / 40 地区中
発行回数	65 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発 (年 1 ~ 4 回発行)

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のニーズや資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項目	内容等
第1層協議体 (市全域)	開催日：平成30年11月8日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 参加団体：8団体(8名)
第2層A協議体 (地区社連9ブロック)	ブロック研修会(地区社連ブロック研修会と併催) 開催回数：9回(平成30年7月～9月) / 目標回数9回 会場：市総合福祉センター、公民館ほか 参加者数：延395名
第2層B協議体 ～暮らし支え合う 井戸端トーク～ (日常生活圏域40地区)	開催地区：30地区 / 40地区中(延べ実施回数32回) (令和2年度末までに全地区で開催予定) *各地区社会福祉協議会が主体となり、地域内の関係機関・団体と連携し、地域の課題、解決策について意見交換を行った。

イ. 地域資源の把握

項目	内容等
地域カルテを活用した地域資源の把握及び資料化	各地区の地域情報等を集約した「地域カルテ」の発行に向け協議体を活用し、地域関係者とともに作成に取り組んだ

ウ. 地域支援体制の構築

項目	内容等
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ

エ. 生活支援の担い手の養成

項目	内容等
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	地域福祉活動推進講演会(年1回)、地域福祉リーダー養成講座(年1回)などの研修会に参加し育成に取り組んだ

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大を図った。特に平成30年度は、7月豪雨災害に伴うボランティア派遣のためボランティアセンター機能を拡充し早期復興に努めた。

ア. 運営

・運営委員会の開催(委員8名)

開催日	出席者数	協議事項
平成30年11月9日	6名	・平成30年7月豪雨災害(災害ボランティア派遣活動)について ・平成30年度事業進捗状況について ・平成31年度事業計画(案)について 他
平成31年3月19日	7名	・平成31年度事業計画について 他

- ・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

松山市ボランティア連絡協議会の運営協力や事業助成を行い、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を行いボランティア活動の推進を図った。

イ. ボランティアコーディネート

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進を図った。

- ・登録数及び相談件数

項目	内容等
団体	505 団体・41,980 名 (新規: 25 団体・1,191 名)
個人	2,718 名 (新規: 112 名)
電話・来所相談	延 6,192 件
マッチング件数	1,605 件

- ・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供することによって、活動の推進及び福祉観の醸成を図った。

項目	学校数等	延件数	延参加者数	内容
小学校	38 校	65 件	6,138 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習 (手話、点字、車いす等) ・フィールドワーク ・障がい者との交流学习等
中学校	12 校	18 件	1,751 名	
その他	16 団体	43 件	1,386 名	
合計	50 校・16 団体	126 件	9,275 名	

- ・各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に協力を行った。

イベント名	主催団体	活動者数
第 33 回トライアスロン中島大会	松山市・トライアスロン中島大会 実行委員会	102 名
平成 30 年度 松山市障がい者ふれあいスポーツ大会	松山市障がい者団体連絡協議会	98 名
第 53 回松山まつり 野球拳おどり「じっとしと連」	松山市障がい者団体連絡協議会	7 名
松山市総合防災訓練	松山市	2 名
第 20 回ふれあいの祭典	松山市障がい者団体連絡協議会	23 名
障がい者へのおもてなし向上講習会	日本旅館協会愛媛県支部	52 名
その他	まつやま NPO サポートセンター運営協議会 外 16 団体	55 名
合計	延 23 団体	339 名

ウ. 情報収集・提供

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供を行った。

項目	内容等	
「おせったい通信」・ 「ボラセン通信」の発行	発行回数	「おせったい通信」12回・「ボラセン通信」4回
	発行部数	各4,400部
	配布先	ボランティアグループ、個人ボランティア、福祉関係団体、市関係機関、民生児童委員協議会、各大学、企業等850ヶ所
メールマガジン	登録者数	1,244名（新規：15名）
携帯電話ボランティア情報システムによる情報提供	登録者数	1,282名（新規：57名）
	送信回数	13回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	1,183施設
ホームページ	アクセス数	5,840件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	29件（相談件数：24件）

エ. ボランティアの学習支援

講座名	開催回数 / 会場 / 講師	延参加者数等
傾聴ボランティア養成講座	開催回数：5回（平成30年7月9日～8月2日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 講師：福本 由美氏 （脳活性サポート企業 gift 代表）	58名 （目標40名）
災害ボランティア養成講座	開催回数：2回（平成30年12月1日～8日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 講師：小原 友弘氏 （松山市危機管理課災害対策指導監） 二神 透氏（愛媛大学防災情報研究センター副センター長）等	14名 （目標30名）
ボラカフェ	開催回数：3回（平成30年12月1日～平成31年2月16日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 内容：コミュニケーション技術や災害ボランティア等について	延62名 （目標120名）
若年層ボランティアリーダー養成研修	開催回数：1回（平成31年1月26日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 講師：山本 清文氏（あかがねミュージアムプロジェクトマネージャー）	12名 （目標30名）
夏休み！ 親子ボランティア体験講座	開催回数：3回（平成30年7月25日～8月6日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 内容：①ガイドヘルプ体験・盲導犬 ②車いす操作・介助体験 ③手話体験 講師：高橋信行氏（県立松山盲学校教諭） 地域包括支援センター城西・勝山 松山手話サークル椿の会	①17組 ・35名 ②11組 ・22名 ③18組 ・42名 （目標各20組）
災害ボランティアフォローアップ研修会	開催回数：1回（平成31年2月16日） 会場：市総合福祉センター 1階 大会議室 講師：愛媛県社会福祉協議会等	24名 （目標60名）

オ. 平成 30 年 7 月豪雨災害における支援活動

・ボランティア受入窓口

開設期間 / 場所	内 容 等
平成 30 年 7 月 10 日～8 月 10 日 松山市総合福祉センター 1 階事務所	ボランティアセンター機能を拡充し対応 窓口閉鎖後は通常業務で対応

・市内被災地へのボランティア派遣状況

項 目	内 容 等
活動地区	11 地区 22 箇所 (清水・湯築・生石・高浜・興居島・和気・久谷・難波・立岩・栗井・中島)
延活動者数	1,713 名
主な活動内容	家屋周辺等へ流れ込んだ土砂の撤去作業等

・宇和島市へのボランティアバス運行状況(愛媛県主催事業への協力)

項 目	内 容 等
運行日数	28 日間 (平成 30 年 7 月 27 日～9 月 6 日) * 9 月 1 日から土日のみ運行
参加者数	1,200 名 (市内: 925 名・市外: 275 名)
主な活動内容	家屋周辺等へ流れ込んだ土砂の撤去作業等

・被災地社協への職員派遣状況(愛媛県・市町村社協における災害時支援協定に基づく派遣)

項 目	内 容 等
派遣先等	宇和島市社協 8 日間 6 名 大洲市社協 4 日間 8 名
主な活動内容	受付、資材配布、ニーズ調査、資材洗浄等

(4) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため会員の加入促進に努めるとともに、希望する会員(企業等)に対してはホームページや掲示板等に名称を掲載し紹介を行った。

ア. 加入状況

会員種別	目 標	会員数	口 数	金 額
個人会員(個人)	3,000,000 円 (3,000 口)	1,923 名	2,260 口	2,260,000 円
特別会員(団体)	3,000,000 円 (600 口)	243 団体	518 口	2,407,613 円
賛助会員(企業)	2,000,000 円 (200 口)	92 社	101 口	1,011,700 円
合 計	8,000,000 円	—	—	5,679,313 円

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	56 名・100 団体・87 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレット コーナーの活用	2 団体・38 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れするとともに、物品については寄付者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行った。

ア. 受入状況等

種別	目標	受入	件数	受入・払出先
金銭	4,700,000 円	5,277,671 円	71 件	市社協
物品	—	りんご	1 件	児童福祉施設 4ヶ所
	—	車いす	1 件	市社協

*えひめ中央農業協同組合 --- 26 商品の売り上げの一部を寄付 (69,452 円)

*災害活動支援金 --- 2,207,694 円 (24 件)

イ. 交通災害遺児見舞金

各地区で民生委員・児童委員が 18 歳以下の交通・災害遺児の実態把握を行い、寄付者の意思に基づき見舞金を配布した。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	55 名
見舞金総額	825,000 円 (15,000 円 / 1 名)

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった 65 歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握を行った。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	165 名
見舞金総額	495,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

項 目	件 数	内 容 等
住宅火災等	20 件	400,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	8 件	160,000 円 (20,000 円 / 1 名)
合 計	28 件	560,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

地域福祉の推進を図るため、各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成した。

助 成 先	助 成 額
市内全地区社協 (40 地区)	35,494,726 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を行う中で、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化を図った。

ア. 研修会

研修会名	開催日 / 会場 / 内容	参加者等
地区社連会長・事務局長連絡会	開催日：平成30年4月20日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 演題：「認知症の患者さんに教わること ～認知症のある人の心と行動のしくみ～」 講師：杉本 詠二氏（松山東雲女子大学非常勤講師）	会長・事務局長 74名 (目標 80名)
地域福祉リーダー養成講座	開催日：平成31年2月6日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 演題：「こんな時あなたならどうする？」 講師：釜野 鉄平氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部准教授）	援護部長・啓発調査部長 68名 (目標 80名)
地区社連会長・事務局長連絡会 [研修会] & [情報交換会]	開催日：平成31年1月25日 会場：伊予鉄会館 演題：「40色で織り成す松山の地域づくり」 講師：恒吉 和徳氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）	会長・事務局長等 85名 (目標 80名)

イ. ブロック会議

項目	内容等
開催回数	9回
会場	市総合福祉センター 5階 中会議室
延参加者数	73名（目標 80名）
内容	[情報交換] 「地域福祉活動推進講演会」に参加して [協議事項] ブロック研修会の開催について

ウ. ブロック研修会

項目	内容等
開催回数	9回（各ブロック1回開催）
開催期間	平成30年7月～9月
会場	市総合福祉センター、市北条社会福祉センター、公民館等
延参加者数	395名（目標 400名）
内容	[グループワーク] テーマ：知ることでもっと好きになるわたしの地域 ～ 地区の良いところ、もっと良くなる場所～ 講師：聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 教員 自分の住む地域内の社会資源や、地域情報、魅力等話し合った

エ. 地域カルテの作成

項目	内容等
地域カルテの作成 ～地区ごとにみる地域特性～	冊子 4,670部

オ. 視察交流研修対応

受入団体	受入人数	内容等
1団体（霧島市横川地区民協）	17名	松山市で実施される各種福祉事業について（地域福祉サービス事業等）

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

広く市民に市社協の啓発を図るため、社協だよりの発行や各種イベントへの参加のほか、フェイスブックを活用した広報活動等を通して市社協及び事業の紹介を行った。

項 目	内 容 等
社協だよりの発行	年 2 回 (約 243,000 部 / 1 回)
ラジオでのイベント・事業等紹介	年 4 回 (南海放送「みんなの松山」)
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚 共同募金運動・日本赤十字社啓発用
木製クリップの作成 (ハートフルプラザ松山の商品)	700 個 (共同募金運動・募金協力者等へ配布)
イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 えひめ 9 月 29 日 職員参加 67 名 (2) みんなの生活展 10 月 20 日 職員参加 6 名 (3) 健康フェスタ in えひめ 2018 7 月 7 日・8 日 職員参加 4 名 (4) 2018 トーチランえひめ 6 月 29 日 職員参加 12 名
ホームページの運営	(1) 松山市社会福祉協議会 (154, 135 件) (2) 松山市ボランティアセンター (17, 439 件) (3) いきがい交流センターしみず (814 件) (4) まつやまバリアフリーマップ (5, 840 件)

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2018」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。 *総合福祉センター管理・運営事業 (P19) に再掲

③ふれあいフェスティバル (わかくさファミリーまつり) 開催事業

子どもの日にちなんだイベントを協賛企業やボランティアと連携して開催し、子どもたちが楽しめる映画や昔懐かしの駄菓子屋コーナー等を通じ、世代間の交流や子どもたちの健やかな育成を図るとともに、市社協事業の啓発や理解者の拡大に努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 5 月 3 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 800 名 (目標 1,200 名)
内 容	○映画コーナー (怪盗グルーのミニオン大脱走) ○あそびコーナー (オリジナル缶バッジ作成、家族の似顔絵作成等) ○催し物コーナー (こども服おさがり交換会) ○販売コーナー (駄菓子屋、食べ物販売等)

④福祉サポートフェスタ開催事業

子どもから高齢者までの世代間交流やふれあいを通じて学習の場や福祉の情報提供を行い、福祉力の向上に努めるとともに、企業の参加・協力（協賛企業 12 社：社協会員）を促すことで連携・協働を深め、福祉活動への理解促進と企業の社会貢献活動の拡大を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 9 月 22 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 800 名（目標 1,000 名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○協賛企業啓発コーナー（12 社） ○映画「ケアニン」 ○特設ステージ（いのちのまつり・企業ステージ） ○体験コーナー（ハーバリウム、缶バッジ等） ○相談コーナー（介護相談、住宅相談、年金相談、空家管理相談等） ○お食事コーナー ○スタンプラリー 等

⑤北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体（協賛企業 13 社・18 団体）が協働し、各種イベントやコーナーでのふれあいを通じて社会福祉協議会や福祉活動への理解促進、ボランティア活動の拡充を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 12 月 1 日
会 場	市北条社会福祉センター 1 階 ロビー等
参加者数	約 1,200 名（目標 1,000 名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ステージ発表（幼稚園児お遊戯） ○ダンسパフォーマンス ○バザーコーナー ○娯楽コーナー ○作品展示コーナー ○お楽しみ抽選会 ○メッセージバルーン 等

⑥春夏秋冬（しき）笑顔まつやま福祉五七五事業

福祉啓発活動の一環として福祉をテーマとした俳句を季節ごとに募集し、福祉への理解を深めるとともに、市総合福祉センターに掲示することで松山らしい福祉情報を発信した。

季節	会長賞 / 募集期間	投句数	入選句数
春	春耕の段取り案じ父眠る（南宇和郡愛南町） 募集期間：平成 30 年 4 月 2 日 ～ 5 月 6 日	261 句（目標 300 句）	30 句
夏	被災地の球児頼もし梅雨明ける（松山市） 募集期間：平成 30 年 6 月 1 日 ～ 8 月 5 日	227 句（目標 300 句）	30 句
秋	赤い羽根つけて母子のえくぼかな（松山市） 募集期間：平成 30 年 9 月 1 日 ～ 11 月 4 日	425 句（目標 300 句）	30 句
冬	聞くこともいつしか慣れて日向ぼこ（大阪府） 募集期間：平成 30 年 12 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 3 日	500 句（目標 300 句）	30 句
合 計		1,413 句（目標 1,200 句）	120 句

⑦地域福祉活動推進計画策定事業

【新規事業】

第3期地域福祉活動推進計画（なもしプラン）の5年計画が平成30年度で終了することから、第4期計画（5ヵ年）の策定を行った。第4期計画においては、松山市の地域福祉計画（ささえあいプラン）と一体化することで効率性と実効性のある計画策定に努めた。また、地区社協と協働し「地域カルテ」を作成することで、地域の現状を把握するとともに地域の魅力や課題の共有を図った。

項 目	内 容 等
第4期地域福祉活動推進計画～このまちのえがおプラン～の作成 （5ヵ年：平成31年度～平成35年度）	ア．冊子 1,500部 イ．概要版 5,000部
地域カルテ～地区ごとにみる地域特性～	ア．冊子 350部 イ．各地区1枚もの4,670部

⑧VR認知症体験会開催事業

【新規事業】

9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、バーチャルリアリティー（VR）の技術を活用した認知症疑似体験会を開催し、認知症の方が暮らしやすい社会や心に寄り添った接し方等について考える機会を提供するとともに、認知症に対する理解促進を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成30年9月22日
会 場	市総合福祉センター 5階 中会議室
参加者数	88名（目標100名） （一般市民向けコース 44名、福祉施設従事者向けコース 44名）
講 師	本間 佑介氏（株式会社シルバーウッド）
内 容	バーチャルリアリティー（VR）の技術を活用した認知症状の疑似体験

*総合福祉センター管理・運営事業（P18）に再掲

⑨第57回愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動

【新規事業】

コース沿道の清掃ボランティア活動を通じて、実践機会の提供とボランティア相互の交流促進を図るとともに、企業の参加・協力を促進することで福祉活動や社会貢献活動の拡大に努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成31年2月2日
コ ー ス	市内中心部コース沿道 *拠点を2ヶ所設置し、7コースに分かれての清掃活動
参加者数	118名（目標150名）

⑩障がい者理解啓発イベント開催事業

【新規事業】

「障害者の日」にちなみ、障がい者の機能的・精神的に支えとなる補助犬についての講演会を開催するとともに、就労継続支援B型事業所（17事業所）による販売コーナーでのふれあいを通じて障がい者を支える地域活動の普及啓発の拡充を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 30 年 12 月 22 日
会 場	市総合福祉センター 1階 ロビー・大会議室 他
参加者数	約 500 名（目標 400 名）
内 容	○補助犬講演会「補助犬を理解しよう」 ○就労継続支援B型事業所の紹介及び販売コーナー ○障がいに関する相談コーナー ○食事コーナー ○クリスマスカード作り 等

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域福祉の増進を図った。

また、遊休農地等を活用し、野菜等を栽培から収穫まで参加者がふれあいながら作業を行い交流できるよう活動するサロン農園に対し助成を行った。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	内 容 等
69 サロン (目標 88 サロン)	2,749,070 円	[交流] 1 サロン：1 開催 3,000 円(15 回を限度) [農園] 1 サロン：年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数	実施回数	延利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	51 サロン(目標 52 サロン)	813 回	13,891 名	17.1 名
子育てサロン	10 サロン(目標 16 サロン)	153 回	3,370 名	22 名
障がい者サロン	1 サロン (目標 5 サロン)	25 回	527 名	21.1 名
合 計	62 サロン	991 回	17,788 名	17.9 名
農園サロン	7 サロン (目標 15 サロン)			

ウ. 子育てサロン交流会

開催日 / 会場	内 容 等	参加者
平成 31 年 1 月 9 日 市総合福祉センター	子育て情報交換カフェ、キッズシネマ上映会、ワークショップ (カード作り)	26 名

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の開発・製作を行い、高齢者・障がい者の就労支援や社会参加・生きがいづくりを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPRを行った。

項 目	内 容 等	販売数
松山トリコ製 品	○湯玉トートバック (Lサイズ・Sサイズ)	63 個
	○紙の湯カードケース (シングル・ダブル)	249 個
	○湯あがりコースター	211 個
	○湯あがりカバー	177 個

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動を支援した。

助成団体数	助 成 額
12 団体 (松山市障害者団体連絡協議会等)	460,000 円

④地域団体研修等車輛借上助成事業(旧地域交流助成事業)

地区社協・地区民協等関係団体が実施する研修や交流活動に対し、バス等借上料の一部助成を行うことにより団体を支援し、地域福祉活動の拡大を図った。

助成団体数	助成総額	内 容 等
84 団体 (計画 155 団体)	1,605,290 円	1 団体上限 20,000 円

⑤地域交流型キッズシネマ上映会実施事業

【新規事業】

子育て中の家庭が参加しやすい映画上映会を公民館等、身近な場所で実施することで、同世代の家族間の交流を深めるとともに、子育てサロン等の活動の充実を図った。

延べ実施回数	延べ参加者数
5 回 (計画 10 回)	125 名

⑥こども服交換会開催事業

【新規事業】

子育て中の家庭において、まだ着られるがサイズの合わなくなったこども服等をこれから必要とする方へ譲り、自分も気に入ったものと交換ができる参加者による互助の仕組みづくりをコーディネートすることで、子育てに関する情報交換や交流の場づくりを提供するとともに、服のリユースによるごみ減量化等への意識向上を図った。

実施日 / 会場	服の持込数	服の交換数
平成 30 年 5 月 3 日 (ファミリーまつりと同時開催) 市総合福祉センター 1 階ロビー	523 枚	330 枚
平成 30 年 8 月 8 日 (余土地区子ども夏フェスタと同時開催) 余土公民館	503 枚	404 枚
平成 30 年 10 月 21 日 (若草福祉まつりと同時開催) 市総合福祉センター 5 階 母子児童交流室	74 枚	81 枚

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実を図った。

登録者数	活用事例
11,300名（新規：244名）	12件（累計142件：平成23年7月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症6件、中症5件、重症0件、不搬送0件、死亡1件

②認知症高齢者SOSネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明者となった高齢者の早期発見・保護に努めるとともに、協力者や高齢者の登録拡大を図った。

検索協力者登録数		高齢者登録数	実施件数
個人	1,389名（新規：46名）	332名 （新規：84名）	検索依頼 24件 メール配信 22件 （配信累計53件：平成25年度から）
企業・団体	280団体（新規：8団体）		

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援を行った。

項目		対応件数等	内容等
新規相談受付件数（総数）		811件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
延相談件数（総数）		5,272件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）		201件	支援調整会議188回
就労支援対象者数 （プラン期間中の一般就労を目標にしている）		161名	
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	24件	1つの支援計画（プラン）作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
	一時生活支援事業	6件	
	就労準備支援事業	4件	
	自立相談支援事業による就労支援	155件	
その他	生活福祉資金等による貸付	39件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	150件	
一般就労者数		74名	一般就労者数3件、増収者数4件のプラン作成者以外等含む
増収者数		51名	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう問題解決に向けた支援・助言を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
延件数	290件	1,232件	354件	2,211件	247件	44件	2,389件	29件	6,796件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

()内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
延件数	2,939件 (2,939)	88件 (88)	174件 (174)	1,883件 (1,883)	28件 (28)	80件 (80)	605件 (605)

	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
延件数	210件 (210)	265件 (265)	1件 (1)	120件 (120)	403件 (403)	6,796件 (6,796)

ウ. 研修会

研修会名	開催回数 / 会場 / 内容	参加者等
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：4回（平成30年8月30日、9月14日、9月26日、10月22日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：①「虐待の防止・予防について」 ～ゲーム方式で楽しく学ぼう～ ②「事例に基づいたグループワーク」 ～冷静な判断と対応方法について～ 講 師：鈴木 正幸氏（社会保険労務士法人ひなそよ 代表社労士）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 延215名 （目標250名）
松山市発達障がい者就労支援研修会	開催回数：1回（平成30年12月22日） 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室 講 演：「発達障がいの理解と支援」 ～発達障がいと向き合い、親の会活動から見えてきたこと～ 講 師：古川 直子氏（ペアレントメンター）	一般企業、地区社協・民協、医療・教育・福祉関係者等 200名 （目標250名）
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：2回（平成31年2月27日・3月6日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：「障がい者差別解消法について」 ～障がい者差別解消法で定められていることは何？～ 講 師：山岸 義和氏（愛媛弁護士会 高齢者・障害者総合支援センター運営委員会 副委員長）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 延84名 （目標100名）

(3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	5 件 〔 新規 2 件 〕 〔 終了 1 件 〕	21 件 〔 新規 1 件 〕 〔 終了 0 件 〕	54 件 〔 新規 3 件 〕 〔 終了 4 件 〕	6 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 3 件 〕	86 件 〔 新規 6 件 〕 〔 終了 8 件 〕

*〔 〕 は、平成 30 年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
11 名	1,662 回	1,697 時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援を行った。

申請内容	相談件数	申請件数
(1)総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	21 件	0 件 0 件 0 件
(2)福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	1,007 件	8 件 37 件
(3)教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	231 件	8 件
(4)不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	141 件	2 件 1 件
(5)その他 (償還猶予申請等)	—	8 件
(6)臨時特例つなぎ資金	1 件	0 件
合 計	1,401 件	64 件

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用人数	内 容 等	
8,489 団体	211,224 名 (目標 215,000 名)	施設見学 有料利用	1 団体 30 名 6 件 244 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行 事 名	開催日 / 会場 / 内容	参加者
地域福祉活動推進 講演会	開催日：平成 30 年 6 月 13 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 演 題：「支え合うってそもそもなんなん？そのカタチを考えよう」 講 師：酒井 保氏（ご近所福祉クリエーション主宰）	226 名 (目標 350 名)
手話通訳者指導者 研修会	開催日：平成 30 年 7 月 8 日 会 場：市総合福祉センター 4 階 ボランティア研修室 演 題：「読み取り通訳の実践練習」 「医療場面の手話通訳」 講 師：新中 理恵子氏（手話通訳士）	15 名 (目標 35 名)
認知症に関する講演会	開催日：平成 30 年 9 月 22 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 演 題：「VR 認知症体験会」 講 師：本間 佑介氏（株式会社シルバーウッド）	88 名 (目標 100 名)
まつやま優秀映画鑑賞 推進事業 (懐かしの名画劇場 2018)	開催日：平成 30 年 11 月 17 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 内 容：①カルメン故郷に帰る ②二十四の瞳 ③野菊の如き君なりき ④喜びも悲しみも幾年月	1,470 名 (目標 800 名)

ウ. キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内 容 等
開催回数	6 回（平成 30 年 7 月 27 日 ～ 平成 31 年 1 月 4 日）
開催時間	9：00 ～ 17：00（8：00 から受入、18：00 まで預り）
会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室等
参加者数	児童 30 名（募集定員：30 名）、 専任スタッフ 2 名、ボランティアスタッフ延 38 名
カリキュラム	○マイボックスづくり ○愛大ミュージアムに行こう！ ○スポーツレクリエーション ○書き初めに挑戦！ ○陶芸に挑戦！ ○テレビ局へ見学に行こう！ ○警察署見学！ ○木工細工に挑戦！ 等

エ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2018」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	平成 30 年 10 月 20 日	平成 30 年 10 月 21 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○余剰品販売コーナー ○うごくシャッフルぬりえ ○お茶席 ○折り紙教室 ○高齢者等人権安心相談コーナー ○楽しく脳トレーニング 等	○映画「ソング・オブ・ザ・シー」上映 ○うごくシャッフルぬりえ ○マッサージコーナー ○携帯ホワイトボード作り ○車いす体験 ○おさがり服交換会 ○お楽しみ抽選会 等
	○障がい・権利擁護相談 ○食べ物・販売・お食事コーナー ○要約筆記・手話体験 ○スタンプラリー	○障がい者団体バザー ○サロン事業作品展示 ○朗読・点字を学ぼう ○各種団体による展示コーナー 等
来館者数	延 3,000 名（目標 4,000 名）	
広 告	45 団体・企業（広告収入：285,000 円）	
参加団体	55 団体（ボランティア・福祉団体等）	

オ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進を図った。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合計
保 管 数	2,360 冊	187 冊	1,541 本	282 本	135 枚	4,505 点
貸出件数	39 件	1 件	74 件	16 件	16 件	146 件

カ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大を図った。

実 施 内 容		実 施 期 間 等
ロビー展等	ア. 春夏秋冬（しき）笑顔まつり福祉五七五事業入選作品展示	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
	イ. おえかきコーナー「家族の絵」	平成 30 年 5 月 3 日～6 月 17 日
	ウ. 赤い羽根共同募金ポスター展示	平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
	エ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	平成 30 年 12 月 3 日～7 日
募金箱の設置	ア. 日赤活動資金募集募金箱設置	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
	イ. 共同募金募金箱設置	平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
	ウ. 大阪府北部地震災害義援金募金箱設置	平成 30 年 6 月 22 日～9 月 28 日
	エ. 7 月豪雨災害義援金募金箱設置	平成 30 年 7 月 10 日～平成 31 年 3 月 31 日
	オ. 北海道胆振東部地震災害義援金募金箱設置	平成 30 年 9 月 11 日～平成 31 年 3 月 29 日
その他	ア. ご意見箱の常設（1 階・4 階・5 階）	平成 30 年 4 月 1 日～（平成 19 年 8 月 1 日設置）
	イ. 東日本大震災支援ベルマーク収集箱設置	平成 30 年 4 月 1 日～（平成 23 年 9 月 1 日設置）
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ ①世界自閉症啓発デー（ブルー）	平成 30 年 4 月 2 日

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理を行った。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
37 台	54,128 名	1,927 団体	1,471 社

(3) 番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供した。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
293 団体	2,185 名

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用件数	延利用者数
2,516 件	15,535 名

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に寄与した。

ア. 地域交流事業

項目	対象	開催回数	延参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00 ~ 15:00)	介護保険対象外の概ね 65 歳以上の方	90 回	1,103 名
交流授業	清水小学校児童	55 回	5,129 名
地域交流イベント (清水小ふれあいバザーへ参加)	清水小学校児童・保護者等	1 回	65 名
しみずサポートボランティアの活動	大学生等	148 回	412 名

イ. 講座等の開催

行事名	開催回数 / 会場 / 内容	延参加者数
シニアライフ講座	開催回数：8 回（平成 30 年 5 月 23 日～7 月 4 日） 会場：いきがい交流センターしみず 内容：介護保険制度、財産管理と遺言、認知症や認知症やの介護、成年後見制度、終活等について 8 テーマ	139 名 (目標 160 名)
シニアのためのタブレット講座	開催回数：8 回（平成 30 年 12 月 14 日～平成 31 年 3 月 1 日） 会場：いきがい交流センターしみず 内容：基本操作、各種設定、便利なアプリの使い方、カメラ・動画の撮影と編集、インターネットの活用、LINE 等	69 名 (目標 72 名)

ウ. 視察対応

受入団体	受入人数	内容等
6 団体（八幡浜市川上地区社協、松山北高等学校、東洋大学福祉社会開発研究センター等）	39 名	事業概要、地区社協・小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流等について

(6) 活動拠点整備事業

【新規事業】

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

項目	拠点	内容等
拠点整備	えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週 2 回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消を図った。

実利用者数	延訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,519 名	260,910 回	432 名	406 件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年 4 回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減を図った。

利用券交付者数	延利用者数	新規申請者数
9 名	24 名	3 名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、利用者の心身の負担軽減及び安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者 7 社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上を図るため、1 日 1 食（昼又は夕）の食事サービスを提供した。

実利用者数(3 月現在)	延配食数	新規申請者数
563 名	144,852 食	260 名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている 64 歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者 9 社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上を図った。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
9 件	5 件	3 件

*平成 30 年度は新規申請 3 件、返却 4 件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に月2回以上集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援を行った。

ア. 規模別サロン数

回数 \ 規模	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
月2回	46	61	3	0	110ヶ所
月3回	3	13	1	0	17ヶ所
週1回	20	23	1	0	44ヶ所
週2回	2	3	0	1	6ヶ所
週3回以上	0	0	0	1	1ヶ所
合計	71	100	5	2	178ヶ所

イ. 活動状況

サロン活動登録者数 (65歳以上)	5,381名				
延べサロン開催回数	6,049回				
延べサロン参加者数	113,307名				
<table border="1"> <tr> <td>サロン活動登録者数 (65歳以上)</td> <td>(103,781名)</td> </tr> <tr> <td>サロン参加者数 (64歳以下)</td> <td>(9,526名)</td> </tr> </table>	サロン活動登録者数 (65歳以上)	(103,781名)	サロン参加者数 (64歳以下)	(9,526名)	
サロン活動登録者数 (65歳以上)	(103,781名)				
サロン参加者数 (64歳以下)	(9,526名)				

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	①開眼片足立ち (体力測定) ②手がかり再生 (脳トレーニング測定) *①②どちらかの測定のみも可能
実施サロン数	177サロン
延べ実施者数	2,801名 (①②両方: 2,447名 / ①のみ: 247名 / ②のみ: 107名)

エ. ふれあい・いきいきサロン研修会

内容	開催回数 / 会場	参加者等
体験型ふれあい・いきいきサロン	開催回数: 2回 (平成31年1月17日・21日) 会場: 市総合福祉センター 3階 健康増進室 市北条社会福祉センター 2階 大会議室	45名 (目標40名)
わたしたちサロンの工夫しているところ	開催回数: 2回 (平成31年2月27日・3月4日) 会場: 市総合福祉センター 1階 大会議室 市北条社会福祉センター 2階 大会議室	308名 (目標300名)

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島 (興居島地区) と安居島 (北条地区) に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援を行った。

離島	回数 (予定)	延利用者数	平均利用者数	実施内容
釣島	6回 (8回)	71名	11.8名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話等 協力: 医療法人・社会福祉法人
安居島	7回 (8回)	28名	4名	

*開催予定日に警報発令のため1~2回中止。

カ. まちなかサロン実施状況

開催回数	94回
延べサロン参加者数	1,717名
65歳以上の参加者数	(1,701名)
64歳以下の参加者数	(16名)

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 175サロン
調査期間	平成30年4月1日～7月31日

ク. 広報啓発等

啓発方法	回数等
「ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	4回 (1,660部 サロン関係者等への送付)

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	88種類 229個	261件
プロジェクター・DVD等	33タイトル 94枚	133件

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続を目指し、体操教室を実施した。

項目	内容等
開催回数	80回 (平成30年5月7日～平成31年3月22日)
会場	市総合福祉センター 1階 大会議室
延参加者数	3,545名 (目標4,000名)

③まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を図った。

項目	内容等
開催回数	10回 (平成30年5月11日～平成31年1月11日)
内容等	○プレ講義 (自己紹介・事業説明等) ○ワークショップ (学生との交流授業) ○ボランティアウィーク ○大学祭 (余剰品バザー参加) ○校外学習・交流会 (久万高原町)
会場・共催	聖カタリナ大学
延参加者数	424名 (目標500名)

④北条文化の森いきいき講座事業

【自主事業】

行事名	開催回数 / 会場 / 内容	延参加者数
北条文化の森 いきいき講座事業	開催回数：6回（平成30年8月9日～平成31年2月1日） 会場：北条社会福祉センター 2階 大会議室 内容：目ヨガ体操、脳トレと体操健康法、からだリラ ックス体操等	105名 （目標180名）
北条文化の森 健康づくり体操 教室事業	開催回数：40回（平成30年4月18日～平成31年3月13日） 会場：北条社会福祉センター 2階 大会議室 内容：マットやボール等を使った体操、血圧測定、体 力測定等	1,973名 （目標1,700名）

(3) 聴覚総合支援事業

①聴覚総合相談事業

【市受託・指定管理事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援を行った。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	関係機関	合計
延件数	2,156件	4,371件	3,545件	183件	10,255件

イ. 支援内容（連絡調整含む）

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延件数	1,154件 (1,154)	3件 (3)	375件 (375)	37件 (37)	0件 (0)	60件 (60)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延件数	198件 (198)	1193件 (1193)	78件 (78)	612件 (612)	8件 (8)	1,130件 (1,130)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延件数	3,390件 (3,390)	165件 (165)	1,743件 (1,743)	109件 (109)	10,255件 (10,255)

*（ ）内は解決に至った件数。

ウ. 啓発活動

内 容 等	回数	参加者数
松山市女性消防団手話講習会	12回	120名
民生児童委員研修会(障がい者部会)	1回	30名
愛媛銀行市役所支店手話講習会	1回	14名

エ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

項 目	内 容 等
紹介人数	648名
内 容	松山市福祉大会、人権啓発フェスティバル、県精神保健福祉大会、松山法人会、市民医学セミナー、愛媛マラソン、聖カタリナ大学、愛媛大学、松山大学、愛媛障害フォーラム、権利擁護市民セミナー、コムズフェスティバル 他

オ. 聴覚障がい者無料法律相談会

愛媛弁護士会から弁護士の派遣協力を得て、情報・コミュニケーション不足のため法的トラブルを抱えながらも法律の専門家に繋がるのが困難となっている聴覚障がい者に、意思疎通支援に配慮した身近な相談窓口を提供することで聴覚障がい者の福祉の増進を図った。

行事名	開催回数 / 会場	延相談者数
無料法律相談会 (弁護士)	開催回数：3回（平成30年10月1日・12月2日・平成31年2月4日） 会 場：市総合福祉センター 5階 相談室	12名（9ケース）

②手話通訳者設置事業

【市受託・指定管理事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援を行った。

内 容	身体 障害 者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
	20 件	16 件	29 件	29 件	17 件	4 件	95 件	83 件	3 件	1 件	16 件	39 件	47 件	159 件	64 件	263 件	885 件

③意思疎通支援事業

【市受託・指定管理事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者を派遣した。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣											大会等派遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計	大会等派遣		
件数 (名)	2,642 (2,642)	2,744 (2,744)	126 (126)	70 (70)	40 (40)	17 (17)	17 (17)	30 (30)	631 (631)	6,317 (6,317)	72 (202)	6,389 (6,519)	

イ. 登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

項 目	内 容 等
開催回数	12回（平成30年4月23日～平成31年3月25日）
会 場	市総合福祉センター 5階 中会議室等
内 容	「模擬通訳」「医療・診察場面の通訳」「どう表現する?」「現場力」「交通事故場面」「障害者総合支援法における福祉サービス」「意見交換」等
延参加者数	367名

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	内 容 等
期 間	平成 31 年 2 月 5 日 ～ 28 日
受診者数	27 名（手話通訳者 20 名、要約筆記者 3 名、手話・要約筆記者 4 名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託・指定管理事業】

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導を行った。

講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 18 名 ・ 夜間 16 名
	手話通訳Ⅰ	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 10 名 ・ 夜間 15 名
	手話通訳Ⅱ	午前 36 回 ・ 夜間 36 回	午前 9 名 ・ 夜間 26 名
	手話通訳Ⅲ	午前 16 回 ・ 夜間 16 回	午前 7 名 ・ 夜間 14 名
要約筆記者養成講座(手書き・パソコン)		午前 45 回 ・ 夜間 45 回	午前 9 名 ・ 夜間 7 名

イ. 全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 31 年 2 月 17 日
会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室等
受験者数	11 名（内合格者 3 名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

【市受託・指定管理事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進を図った。

行 事 名	開催回数 / 開催期間 / 内容	延利用者数
生活支援訪問	訪問回数：106 回 訪問期間：平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	357 名
中途失聴者・難聴者の手話講座	開催回数：昼の部 40 回・夜の部 40 回 開催期間：平成 30 年 4 月 17 日 ～平成 31 年 3 月 19 日 内 容：手話学習と仲間づくり、暮らしに関する手話、冠婚葬祭に関する手話 等	748 名
暮らしセミナー	開催回数：10 回 開催期間：平成 30 年 5 月 21 日 ～平成 31 年 3 月 18 日（10 回） 内 容：通訳派遣について、介護保険について、糖尿病を知ろう、くすりと健康、認知症について 等	283 名

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に寄与した。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	26,134 件	26,645 件	26,476 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	172 件	140 件	140 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	825 件	746 件	746 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,660 件	1,649 件	1,646 件

* 依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となること等から発生

(2) 社会福祉施設等支援事業

① 介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上が図れるように努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	設置数	延訪問回数
通所介護	124 施設	22 回
グループホーム	123 施設	30 回
地域密着型通所介護	86 施設	12 回
認知症対応型通所介護	17 施設	2 回
小規模多機能型居宅介護	54 施設	14 回
特定施設入居者生活介護	51 施設	22 回
合 計	455 施設	102 回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	39 回

ウ. 集団・テーマ別研修の開催

研修名	開催回数 / 会場 / 内容	延参加者数
集団研修	開催回数：6 回（平成 30 年 9 月 1 日～平成 31 年 3 月 22 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室等 内 容： ・ケアプラン研修（2 回） ・介護職員スキルアップ研修（3 回） ・施設長、管理者、リーダー研修	310 名 （目標 340 名）

②ケアプラン評価等事業

【市受託事業】

圏域内事業所からの事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会を毎月開催し、検討委員に主任介護支援専門員のほかに医療や看護、リハビリの専門職を加えるとともに、事例にある要介護者等との面談を通して状態を詳細に把握することでより高度で多面的な検証・助言を行い、またサービス事業所の参加を得て情報共有化の必要性を再認識することで、介護支援専門員のケアプラン作成能力の向上を図った。

項目	内容等
開催回数	12回（平成30年4月26日～平成31年3月27日）
検討委員	5名（主任介護支援専門員3名、医療・看護の視点を有する委員1名、リハビリの視点を有する委員1名）
評価対象ケース	36ケース（松山市地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所） *松山市地域包括支援センターから1名と2ヶ所の事業所から各1名の計3名に依頼
主な検証内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアセスメントによる正確な生活状況の把握と記載方法 ・インフォーマルサービスも含めた個別性のある自立支援に向けたケアプラン作成 ・利用者の思いを反映した具体的な目標設定 ・病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ・利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等 ・サービス提供事業所との情報共有やケアプランと個別サービス計画書との整合性

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、相談活動に必要な知識・技術を習得するための養成研修を開催するなど介護相談員の資質向上を図った。

ア. 実施状況

施設数	訪問回数	延派遣相談員数	相談件数
9施設（新規3施設含む）	99回	196名	217件

イ. 現任介護相談員研修（初級・中級）への参加

開催日等	内容等
開催日 平成30年7月3日（初級） 会場 県総合社会福祉会館 主催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 9名（介護相談員）	行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 講義 「高齢者の心理と理解」 「介護サービス提供の施設や事業所の理解」 演習 「コミュニケーション技術とトレーニング」
開催日 平成30年10月19日（中級） 会場 県総合社会福祉会館 主催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 6名（介護相談員）	行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 講義 「認知症の正しい理解」 活動事例 「伊方町の介護相談員活動～町の取り組み～」 報告 「介護相談員活動への思い」「相談員の受入れとサービスの質の向上について」 演習情報 「介護相談員活動における課題」

ウ. 介護相談員連絡会の開催

開催日等	内容等
開催日 平成30年4月26日 会場 市総合福祉センター 参加者 14名（介護相談員、受入事業所管理者）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の予定と現状について事務局より報告 ・グループワーク（意見交換） ・その他

④まつやまケアサポステーション事業

【自主事業】

居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）を対象に気軽に話し合える場を提供し、日頃抱える悩み事の解消や情報の共有、新たな知識の習得等、ケアマネジャーの資質向上を図った。

項目	内容等
開催回数	6回（平成30年10月17日～平成31年3月14日）
会場	市総合福祉センター 5階 中会議室他
延参加者数	133名（目標150名）
内容	講義及びグループワーク 第1・2回 「高齢障害者の理解～基礎編・応用編～」 第3・4回 「医療に強くなろう！！」 「ケアマネジャーに知ってほしい訪問看護のあれこれ」 第5・6回 「薬剤師の在宅業務について」「緩和ケアと薬剤師」

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各関係機関との連携により、地域生活を支える権利擁護支援体制の強化に努めた。

ア. 主な活動

内容等		相談件数
成年後見利用支援業務（専門相談、申立支援）		512件
成年後見活動支援業務（後見人サポート、啓発・研修）		37件
内 訳	延回数	延参加人数
出張相談会・研修会の開催	13回	397名
講師派遣・会議参加等	24回	1,381名
パンフレット配布部数		5,091部

イ. 専門職無料相談会の開催

項目	開催回数	相談件数
弁護士相談（毎月第2木曜日）	12回	27件
司法書士相談（毎月第4木曜日）	12回	28件
行政書士相談（毎月第3木曜日）	12回	10件

ウ. 講座・研修会の開催

講座名	開催日 / 会場 / 内容	参加者数
成年後見制度実務者研修	開催日：平成30年7月14日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講義：「入門！身寄りのいない利用者への支援～財産管理・お亡くなりになった後の対応編～」 講師：射場 和子氏（ひめはな法律事務所弁護士）	120名 （目標120名）
権利擁護市民セミナー	開催日：平成30年11月24日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講義：「住み慣れた地域で暮らしたい」 ～身近に潜む 高齢者に多い金銭トラブル～ 講師：武井 奈保子氏（東雲法律会計事務所弁護士）	80名 （目標120名）

(2) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 受任件数

	被後見人数				合 計
	市長	親族	本人	職権	
後 見	12 件	2 件	1 件	1 件	16 件
保 佐	—	—	1 件	—	1 件
補 助	—	—	—	—	0 件
合 計	12 件	2 件	2 件	1 件	17 件

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
5 名	105 回	277.5 時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与するとことを目的に、市民後見人の養成を行った。

ア. 研修会等の開催

講座名	開催回数 / 会場 / 講師	延参加者数
成年後見人啓発研修 (施設事業者向け)	開催回数：2回（平成30年9月20日・平成31年3月7日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：成年後見人の役割～成年後見人との付き合い方・ お願いできること～ 講 師：山崎 元昭氏（リーガルサポートえひめ支部司法書士）	57 名 (目標60名)
成年後見人啓発研修 (親族後見人向け)	開催回数：2回（平成30年9月27日・平成31年3月1日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：成年後見人の実務～日頃の金銭管理や契約行為 について注意すること～ 講 師：末光 祐一氏（末光祐一司法書士事務所）	38 名 (目標60名)
成年後見人啓発研修 (中予圏域編)	開催回数：1回（平成30年10月29日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：成年後見制度の有効な活用法 講 師：山岸 義和氏（かちまち法律事務所弁護士）	65 名 (目標50名)
市民後見人養成講座 座修了者ステップ アップ研修会	開催回数：6回（平成30年11月6日～12月14日） 会 場：市総合福祉センター 5階 母子児童交流室 講 義：障がい者総合支援法の概要、精神障がい者における 対応方法、介護保険制度の概要、後見・保佐・ 補助の対応の違いについて、被後見人に対する最 善の利益とは、事例検討等	63 名 (目標84名)
市民後見人養成講座 座修了者フォロー アップ研修会	開催回数：2回（平成31年1月16日・2月8日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：知っておきたい関連制度 ～任意後見制度・後見制度支援信託制度等について～ グループワーク～事例検討～ 講 師：山崎 元昭氏（リーガルサポートえひめ支部司法書士）	41 名 (目標166名)

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進を図った。

項目	内容等
大会名	平成30年度 松山市福祉大会
開催日	平成30年9月6日
会場	松山市民会館 大ホール
参加者数	約1,500名（目標1,600名）
内容	○表彰 134名・40団体 ○講演 演題：「笑いと健康～人生は楽しく・美しく～」 講師：中井 宏次氏（NPO 法人健康笑い塾主宰）

②ボランティア養成講座事業

【市受託・指定管理事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進を図った。

講座名	開催回数	参加者数（修了者数）
点字	初級 20回 ・ 中級 20回	初級 6名（5名） ・ 中級 4名（2名）
手話（午前）	入門 18回 ・ 基礎 22回	入門 29名（25名） ・ 基礎 26名（23名）
手話（夜間）	入門 18回 ・ 基礎 22回	入門 39名（34名） ・ 基礎 33名（28名）
朗読	初級 12回 ・ 中級 13回	初級 19名（18名） ・ 中級 18名（17名）

③コミュニケーションスキルアップ講座事業

【自主事業】

コミュニケーションのスキルアップに興味のある方を対象に、傾聴や心理学によるコミュニケーション技法の学びの場を提供し、地域で活動できるキーパーソンの育成を図った。

項目	内容等
開催回数	20回（平成30年9月13日～平成31年3月14日）
会場	市総合福祉センター 4階 ボランティア研修室
講師	福本 由美氏（脳活性サポート企業 gift 代表）
参加者数	36名（目標：40名・修了者：27名）
内容	傾聴講座（15回）・心理学講座（5回）